

令和2年8月20日

## 夏休み明け全校集会での校長の話

昨日3年生が、そして本日1・2年生が登校し、皆さんが元気に揃ったことをとても嬉しく思います。

今年の夏休みは短く、暑い夏休みでしたね。全国各地で観測史上初めてとなる最高気温が記録され、熱中症で救急搬送される方が増えました。皆さんや皆さんのご家庭では大丈夫だったでしょうか？

ニュースをみていると、その他にも水の事故や被災地復興、終戦記念日の様子、日本や世界の政治の話題など、内容が様々でした。時折、各地でのクラスターの状況が報道されましたが、緊急事態宣言の期間中に比べるとコロナ関連の報道は少なくなったように思います。マスクの人々に与える影響は大きいもので、コロナの報道が少なくなると、これまで緊張して生活してきたこともあって、なんとなく気が緩み、あたかもコロナが収束しているかのような錯覚に陥ってしまいがちです。

9月14日から3年生は那須・日光方面に修学旅行に、9月28日から2年生は野外活動で秋田に、9月29日に1年生は校外学習で山形にそれぞれ行く予定を立てています。校長先生は、この後、皆さんの予定している旅行先でのコロナウイルス感染者の急増等が見られなければ、どの旅行も計画通りに実施したいと思っています。

そこで、先ほど話した気の緩みの話に戻りますが、今回の旅行は県をまたぐこととなります。コロナウイルスに近づく可能性が、学校で日常生活をしている時以上に高くなることは間違いありません。そのような中で旅行を行う以上、先生方も十分な対策をして臨みますが、皆さん一人一人のコロナ感染防止への意識も当然高くなければなりません。コロナ感染防止のために先生方に教わってきていることをしっかりと実践しなければなりません。当日それを実践するためには、日々の練習が必要です。ぜひ、日常生活を練習だと思って感染予防に努めてほしいと思います。

また、当日の朝に熱があったり、体調が不良だったりした場合は、校長先生はみんなのためにその生徒をバスには乗せられません。その決断はおそらく涙が出るほど辛いと思います。

皆さん、ぜひ当日まで体調管理をしっかり行い、校長先生に辛い思いをさせないでください。お願いします。

このようにお話ししてきましたが、今は、1週間先のコロナの状況が読めないのが現実です。皆さんの安全を考えて急遽中止せざるを得ないこともあるかもしれません。それは分かっています。

もう一つお話をします。それは50周年記念行事についてです。本校は昨年度で、めでたく開校50周年を迎えました。これを受けて、今年の秋に、多くの来賓をお呼びして開校50周年記念式典を行う予定でしたが、コロナのために開催ができなくなりました。しかし、やはり50周年を迎えたわけですから、何かの行事は行いたいと思っています。今、50周年にちなんだ記念行事と北中祭の一部と合唱コンクールの一部を合わせた文化的な行事を10月の末にできないかと検討中です。これもコロナの状況でどこまで可能かはまだ未知数ですが、できる範囲で全校生徒が一つになれる行事をつくれればよいと考えています。

校長先生も、皆さんの学年の先生方と同じで、皆さんの思いを大切にしながらいい学校をつくっていきたいと考えています。今年は本当に大変な年ではありますが、皆さんも、少しでも多くのいい思い出が残せるように、お互いに頑張ってください。

これで、校長先生のお話を終わります。静かに聴いてくれてありがとうございました。